

入間川地区中学校統廃合検討協議会第10回会議録

- ・開催日時 平成25年3月27日（水） 午後7時～午後8時
- ・開催場所 狹山市役所6階会議室
- ・出席者 18名（うち代理1名） ※欠席者12名
- ・事務局 生涯学習部長 次長兼教育総務課長 学校統廃合担当課長 同担当主任
学校教育部学務課長
- ・傍聴者 5名

【会議内容】

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

（1）学区の見直しについて

（議長）3月18日に開催された学区部会第5回会議において、学区の見直しについて一定の方向性が出ましたので、そのことについて事務局から説明をお願いします。

（事務局）—— 配付資料説明（略） ——

（委員）富士見小の子ども達が狹山台中に行くことになりますが、かなり距離的に遠くなる子もいますよね。

（事務局）そういったことも考慮して、基本的には狹山台中ですが、中央中に通学することも可能な特別許可地区を一部のエリアに設けたいと考えています。特別許可地区につきましては、関係するPTA会長さんや自治会長さんの方々と協議しながら決めていきたいと思っています。

（議長）他に意見はありますか。

それでは、学区部会で出された学区の見直し案でご了解いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

《「はい」の声あり》

それでは、その方向で宜しくお願いします。

（２）統合の時期について

（事務局）まだ特別許可地区が決まっていないこと、狭山台の方々の意向も今後確認する必要があること、そういった点から、統合の時期につきましては、来年度に入ってから検討協議会で決めさせていただければと考えています。本日のところは、統合の時期について皆さんからご意見を頂戴し、それらを今後の判断材料にしたいと考えています。

（委員）東中のように耐震工事をしていない学校は、いつまでなら使っていないなどといった文部科学省の法的な制限はあるのですか。

（事務局）補助金に関係で言いますと、学校の耐震工事は平成 27 年度中に完了させる旨の通達が文部科学省から出されています。その関係で、統合の時期は平成 28 年 4 月がリミットと考えています。東中につきましては、必要な箇所に耐震スリット工事を施していますので、直ちに校舎が倒壊するようなことはないと考えていますが、天井材や電球の落下などの懸念はあります。

（委員）4 月 1 日ではなく、例えば夏休み明けに統合するようなこともありうるのですか。

（事務局）年度途中の統合は考えていません。

（委員）以前に平成 26 年 4 月に統合するスケジュール案が出ていたと思いますが、ある程度そういうものに則ってやっていかないと、統合の時期はどんどん延びてしまうと思います。もっと目標をしっかりと定めたいので進めていく必要があると思うのですが…。

（事務局）早くて平成 26 年 4 月に統合という形で当初示させていただきましたが、協議が整わない現状においては難しいと考えています。

(委員) この4月に東中に入学する生徒の親御さんからお伺いしたのですが、統合したら、どの中学校に行かされるのかといった諸説明は全くなかったそうです。事前に何も話がないというのも如何なものと思うのですが…。

(事務局) 統合の時期については、なるべく早く決めて保護者に説明をしたいと考えていますが、その前に、どこに特別許可地区を設けるかを定める必要があると考えています。

(委員) そういうことであれば、事務局は統合の時期を平成28年で考えていると私としては踏んだのですが、如何でしょうか。

(事務局) それは、あくまでも検討協議会で決めていただくことになりますが、いずれにしても統合の時期につきましては、特別許可地区のエリアに住んでいる子ども達のことを考慮し、どちらの学校に行くかを選択する時期の11月までには決めたいと考えています。

ちなみに、入曽地区の中学校の統合の時期は平成27年4月となっております。入間中が入間野中と山王中に分散統合する形ですが、山王中が指定校となるエリアについては、入間野中への通学も可能とする特別許可地区を設ける予定です。

(委員) 仮に平成27年に統合となった場合、この4月に東中に入学する生徒は、入学する前に何も知らされないなかで、中3で学校を変わらざるをえないことになります。そういうのはどうかと思いますし、学校が変わるにしても、入学する前の段階で周知しておく必要があると思います。そういった面では、小学校6年生の段階で周知したうえで、平成28年4月に統合を実施する方が与える影響も少ないと思います。

(3) その他

(事務局) 来年度の検討協議会委員の構成ですが、今回の学区の結果を受けまして、奥富小と入間川東小の関係者に代えて、新たに狭山台のPTA会長さんや自治会長さんを加える方向で検討しています。人選につきましては、会長と事務局にお任せいただければと思っています。

なお、学区部会につきましては、第5回会議をもって解散とさせていただきます。

(議 長) 来年度以降の検討協議会委員の人は、事務局に一任ということでよろしいですか。

(委 員) あまり委員が変わってしまって、また話が戻ったりするようでは困りますので、私自身、富士見小の PTA 会長として来年度留まるかどうか分かりませんが、富士見小は私も含めて二人ないし三人で参加させていただければと思っています。

(事務局) 検討協議会の人数は、これ以上多くならないようにしたいのですが、富士見小は特に関係する学校ですので、2 名の参加で検討したいと思います。

(委 員) 代理出席についてですが、今までは、代理で出席される方は発言を控えてくださいといった不思議な圧力がありました。そういうのもおかしいですし、いろんな方の意見を聴くのは大事なことだと思いますので、今後は代理の方についても、きちんと発言権を与えてほしいです。

(事務局) 第 8 回会議の際に代理出席にかかる議論がありましたが、代理の方にも発言権をしっかりと与えましょうということで皆さんの了承があれば、それで宜しいかと思います。

(議 長) 今後は代理で出席された方についても、自由に意見を言えるということで宜しいですか。

«「賛成」の声あり»

それでは、その方向で今後はいきたいと思います。

他に何かありますか。

(委 員) 今回の統廃合に伴う学区の見直しでは、入間川中には生徒は流れてこない形になりましたが、入間川中の今年の新入生も 80 数名の予定ですから、ぎりぎり 3 クラスを保っているというのが現状です。今後とも人数が減ってしまえば、入間川中も成り立たなくなるのではないかと心配をしています。ですから、今回は富士見小の子ども達が別れずに済みましたのでベストな案だと思いますが、この先また学区の再編が行われるようなことがあれば、その時は入間川中の生徒が増える方向

で検討をしていただきたいと思います。そして、どこかの学校に偏るようなことなく、バランスよく生徒を割り振っていただきたいと思います。

(事務局) 今回はこういった形になりましたが、将来的には小学校も含め全市的に学区の見直しが必要になると思っています。

(委員) 来年度で東中は会長も副会長も変わります。廃校となる東中についても富士見小と同様、来年度も一人は残してもらいたいです。

(事務局) 3名ということですか。

(委員) そのあたりははっきり決めていませんが、3名だとしたら、前会長と会長、副会長といった感じですね。今年度のメンバーがある程度残った方が、会議も合理的に進むと思います。

(事務局) 富士見小と東中の来年度のメンバーにつきましては、あらためて個別にご相談させていただければと思います。

(委員) 学区部会は解散しましたが、来年度また部会を設ける予定はありますか。

(事務局) 富士見小学校区については、狭山台中だけでなく中央中も選べる特別許可地区を、統合する年に合わせて設定したいと考えていますが、それを検討するために改めて部会を設けるということは考えていません。この特別許可地区の設定については、もう少し人数を絞った形で、関係する方々と協議したいと思っています。

(委員) 実際に通学路を歩くといったシミュレーションは、どこで実施していただけるのですか…。

(事務局) 検討協議会のなかで行いたいと考えています。

(委員) 来年度の会議は、どういうことを決めるのですか。そして、年何回くらい開く予定ですか。

それと、統合の時期については、富士見小の保護者の間では、東中

は耐震も不安だしクーラーもないので、早く統合してほしいといった意見があれば、この 4 月に東中に入学する子は何も聞かされていないのだから、その子たちが東中を卒業するまでは統合すべきじゃないといった意見もあります。私としては、より良い統合になればいいと思っていますし、焦って失敗してもしようがないですから、そういう意味では平成 28 年の方がいいという思いはあります。いずれにしろ、この時期でいきたいという事務局の考えをしっかりと示してほしいと思います。皆さんの意見を聞きながらと言いますが、結局は市の思惑通りに話が進んでいるというのは事実としてありますし、市の基本的な方針を私たちが変えるのは無理だということは重々承知しているつもりです。市がどうしたいかという前提のもと、その中で、どうやったらより良い統合が実現できるかという視点で話し合いをしていきたいと思っていますので、平成 28 年でいきたいのであれば、それをはっきり事務局側から示していただいて、そこに向けて、しっかり順序立てて進めてもらいたいと思います。

(事務局) 年度替わりで役員さんの交代があると思いますので、各団体の総会が終わる頃を見計らって、新年度最初の会議を開催したいと考えています。中央中への通学も可能にする特別許可地区の設定については、別途検討し、検討協議会に提示したいと思います。統合の時期については、本日いただいたご意見を踏まえ、市としての考えをお示ししたいと思います。それらが決まり次第、統廃合計画の提言書の作成に入りたいと考えています。

(委員) 事務局にお願いしたいのですが、担当は変えないでください。そして、方針を曲げないでください。それと、筋は通してもらいたいですが、今回の案の潰し方も乱暴だったと思います。昨年度は、案を出して皆で話し合って多数決で決める形でしたが、今年度のように、四つの案を出しながら、事務局としては①案、②案でいきたいなんていうことは今まであり得なかったですし、他の案の潰し方も、部会委員の間で議論した結果として潰したわけではなく、理由は保護者説明会で反対されたからということだけですから、結局は事務局主体で決められたということです。事務局の方針を受けて決められた今回の学区案に対しては、私としては正直納得していません。柏原中も中央中も入間川中もバランスよく増える案を出したのは私ですが、結局、保護者に反対されたから難しいといった説明しかもらっていません。委員に

対して、賛成ですか、反対ですかと投げかけることもなかったですし、そういうやり方は筋が通っていないと思います。

(事務局) 担当の変更につきましては、人事のことですので何ともお答えできません。

①案、②案につきましては、部会の委員さんから、事務局の考えを示してほしいという意見がありましたので、申し上げたまででございます。

(委員) そういうふうに聞かれたとしても、それは言えませんかって答えなければいけないのではないですか。

(事務局) 私たちとしては、案を潰したつもりはないですし、方針を曲げたつもりもありません。

(委員) まだ統廃合は終わっていないのに、途中で担当課長が変わること自体、私としては理解できません。

(事務局) 変わった理由については、私たちの方では分かりません。

(委員) 一般の会社でもそうですが、組織というものは、一つの担当を同じ人間がずっと務めるということは通常ありませんし、変わるのが当たり前です。必要な事務引き継ぎをしていれば、何ら差し障りは無いと思います。

(委員) まだ統合の時期が決まらないなか、東中の保護者の間では、耐震性が不十分な校舎を使うことに対する不安の声が上がっています。統合するまで耐震工事は行わないということですが、仮じゃないですけど、今よりも少しは耐震性が向上するような工事は考えていただけないでしょうか。

(事務局) 一つの目安である I_s 値 0.3 に満たない棟につきましては、耐震スリット工事を実施しております。普通教室につきましても、比較的耐震性のある棟に配置するなどの配慮をしております。お気持ちはよくわかりますが、新たに耐震工事を施すことは、なかなか難しいと考えています。

(委員) 授業をしている教室は普通教室だけではありません。危ない棟に入っている特別教室でも授業はしているわけですし、そちらの棟で活動をしている部活だってあります。実際、2年前の東日本大震災の時、震源地がここではないにも関わらず、一部崩れた箇所があります。子どもの命に代えられるものはありませんし、0.3とかそういう数字の問題ではありません。そういった東中の状況を、事務局は本当に把握しているのでしょうか。

(事務局) 校舎の状況につきましては、東中の校長先生からも口が酸っぱくなるほど言われております。その都度、打診を行っていますし、必要な補修もしております。

(委員) 保護者の方々の心配は当然だと思います。

今後は、特別許可地区を決めて、統合の時期を決めるということのようですが、特別許可地区もなるべく早く決めて、1年でも早く統廃合を実施した方がいいと思います。子どもの安全・安心が何よりも優先されるべきだと思いますし、授業時間数が増えるなか、クーラーの効いた快適な教室で学ばせることも、大切な使命だと思います。

(委員) 今回の学区の見直しについては、入間川中が増えないで、何で狭山台中に行かなきゃならないのかといった意見もありましたが、峰とか田中、また奥富あたりの農家は、今の狭山台地区あたりまで山とか畑を持っていました。だから、あの辺までが元の入間川だと思っていたでもいいのではないのでしょうか。当初は、峰や田中のあたりが入間川中に行く案でしたが、中央中は峰の地域にありますし、目の前に中央中があるのに何で入間川中に行かなければならないのかと思っていたところはあります。

(委員) 近くに中学校があれば、そこに行きたいと私だって思います。ただ、入間川中の一保護者の意見としては、少しでも入間川中の生徒の数が増えてほしいですし、今回の学区の見直しに関しては、とてもベストな案だと思いますが、入間川中の新年度の1年生と2年生は、各学年とも90人にも満たない見込みで、何とか3クラスを保てるような状況です。入間川中も良い学校ですので、ぜひ来ていただきたいと思っています。

4 閉 会

【配付資料】

- ◆ 東中学校の統合先（案）
- ◆ 学区部会第5回会議録